



シンボルマークを新たな市章に

鴻巣市立学校設置及び管理条例の一部を改正する条例

12月定例会は、11月25日から12月14日までの20日間の会期で開かれ、市長から提出された「令和2年度鴻巣市一般会計予算（第8号）」など26件の議案について慎重審議し、すべての議案を原案のとおり同意・可決しました。また、議員提出議案として2議案が上程され、原案のとおり可決しました。請願2件は不採択となりました。

シンボルマークを新たな市章に

合併後に3地域の均衡ある発展と一体性の確立を目指す象徴として制定されたシンボルマークを、令和3年4月1日から新たな市章とすることについて、審議会委員の主な意見は。

問 鴻巣市・吹上町・川里町の合併から15周年という節目に、このシンボルマークを市章とすることは、今後の更なる発展に向けて市民と行政が一体となつて、愛着のあるまちづくりを進めていく象徴として相応しい」との答申を受けています。

笠原小学校の中央小学校への統廃合

問 小規模校の笠原小学校を存続させていくための努力を、教育委員会はどのようにしたのか。答 各学校は教育委員会とも連携をしながら、各校長の努力の下、特色や魅力ある学校づくりを行ってきました。笠原小学校も独自の行事等がありますが、複式学級の可能性があるところまで児童数が減少し、適正規模及び適正配置という大きな視点で考えていく必要があると考え

鴻巣市行政組織に危機管理監の配置

問 危機管理監の配置と職務は。答 地震や台風、コロナ等の危機事案に迅速に対応できるように、危機管理課を独立させ危機管理監を配置します。市長の命を受け、消防、防災、危機管理に関する事務を処理し、課に所属する職員を指揮、監督します。

市営駐車場廃止

問 パーキング・こののす、鴻巣駅西口駐車場の廃止の経緯と周辺への影響は。答 駐車場廃止に関して、商工会や駅周辺の商店経営者、民間駐車場経営者に状況を聞いて判断しています。最大の判断理由は、利用者数、特に無料の駐車をし

ている人が、10年前に比べると6割以上減っていることです。このことから、一定の役目は終わったと判断し、廃止を決定しました。

窓口業務電子化推進事業

問 ICT技術を活用して市民課における窓口手続の時間を短縮し、待たない窓口実現の具体的な申請の手順は。答 窓口システムを操作し、必要な証明書を自動的に作成し、職員は証明書が申請者のものであるかを確認して、間違いがなければ証明書を発行します。

外国語指導助手派遣業務委託

問 A-LT配置の効果は。答 令和元年度より小学校の全ての外国語活動、外国語の授業については、チームティーチングで行うことができています。小学生は、英語の発音や英語で活動を行うことに対して何のちゅうちよもなく、A-LTの発音を素直にまねて、とてもきれいな発音ができています。中学校に進学して、さらに英語の表現力や知識、技能などを身につける

未就学児お散歩コース安全対策工事

問 外側線やグリーンベルトの書き直し等を実施したとのことだが、具体的な場所は。答 登戸保育園管内、まごやま保育園管内、エンゼル幼稚園管内、カインド・ナーサリー鴻巣本町管内、富士見保育園管内、保育室まなび管内、ふくろうの森保育園管内、保育室風の街管内に隣接する市道です。

三谷橋大間線(2期工事)整備事業

問 今後の計画は。答 今年度、令和3年度分の工事を前倒しで実施する予定で、前倒し分が完了した場合、路線総延長480mの約6割が完成と



なります。今後は引き続き用地買収を行い、用地の引き渡しが出来た箇所からライフラインの工事に入り、拡幅改良工事を実施し、4年度末の完了を目指します。

補正予算 乗合タクシー乗車 チケット配布

乗合タクシー登録者に300円の乗車チケットを2枚郵送するとのことだが、対象者数は。また、いつ時点までの登録者を対象とするのか。

対象者は、令和3年3月12日までの登録者約1万人を想定し、12月28日までの登録者に対しては1月中旬を目途にチケットを郵送し、12月29日から3月12日までの登録者には、順次郵送または登録の際に手渡しします。

補正予算 市役所敷地内に防災 備蓄センターを設置

どのように活用するのか。

屋根上には太陽光パネルを設置し、停電時にも電気の供給ができるような仕組みになっています。

トラックでの物資の搬出がしやすいよう設計し、物資の備蓄や水害用ボートの収納、土のうステーションを併設します。

請願

議請第4号 笠原小学校の存続に関する請願書（不採択）

賛成討論

今回の請願について4445名の賛同がありました。笠原小学校は、笠原地域にとつてなくてはならない公共施設です。地域の声をしっかりと聞いていかなければなりません。笠原小学校の存続に向けて、行政が考え直すことを期待して、賛成します。

反対討論

議員の発言は非常に重いです。市長の発言の切取りについては、笠原小学校を守り育てる会は謝罪しています。この事実を紹介議員が確認したにもかかわらず、説明会の進行に関わることから、一応は謝罪をしているとの理解でそのまま文章を掲載しました。紹介議員の説明は、請願人にも不誠実です。何より不完全な内容であるこの請願については、笠原小学校の子どもたち、保護者の思いを全く軽んじているという考えから、反対します。

請願

議請第5号 唯一の戦争被爆国である日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准をもとめる意見書提出の請願（不採択）

賛成討論

日本政府は核兵器のない世界という言葉を使いますが、それを実現する立場に立っていません。唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器のない世界の取組の先頭に立つべきであるという考えから、賛成します。

反対討論

世界で唯一原爆が投下された経験を持つ国として日本は核兵器の災禍を語り継ぐ責任があります。日本政府はこれまでも核兵器廃絶に取り組んできました。将来的に核兵器禁止条約に参加できるようにするために、日本政府は努力し続けるべきという考えです。核をなくすという理念に賛同しないというわけではありません。しかし日本はアメリカの核の傘の中にあり、安全保障上難しいという現状もありますので、反対します。

条例の制定

議員提出議案第10号
新型コロナウイルス感染症対策のため議員報酬を3カ月間10%減額

これまで議員報酬減額の条例案を2回提出したが、いずれも否決となった。早期に実施すべきだったと考えるが、見解は。

過去2回提出された条例案は、副議長と委員長の議員報酬が逆転する内容でした。議長、副議長、委員長及び議員は、それぞれが重い職務権限を有していますが、副議長と委員長の逆転は、了承できないものでした。

全会派が合意できるものから実施していくべきとの考えから、6月定例会においては各常任委員会・議会運営委員会の視察研修に係る経費を減額し、9月定例会においては政務活動費を年度途中においても返還できる条例の改正を行い、4つの会派が一部返還を実施しました。

議員報酬の減額については、非常に重い課題であり、人事院勧告の内容を確認する必要があらうと考え、今定例会の提出となりました。

行政委員に対する質問

昨年農地法違反件数は農地法違反発見対策はチームコスモス 中野 昭

令和元年度の農地法違反件数と農地法違反者に対する指導件数は何件あったのか伺う。

元年度の農地法違反者に対する指導件数は計4件です。

市民から市内郷地中谷1900番台に農地法違反者が存在しているとの通報が質問者にあつた。この件に対する農業委員会としての見解は。

個々の案件としてではなく全体的な考え方として、農地パトロールの実施方法を再点検するなどの必要な措置を講じ、今後十分に気を付けて実施しなければならぬと考えています。

今後、農地法違反撲滅を目的とした総点検活動の実施を農業委員会はどのように考えているのか伺う。

年1回実施の農地パトロールのより効果的な実施はもとより、今後は、農地情報の入った地図が見られるタブレットを現場に持ち込んで活用するなどを検討していきます。